

高専を卒業した女性たちからのメッセージ

Hokkaido女子中高生
「Rikoのキャリアサポ」プロジェクト
KOSEN JOSHI BOOK 2020



Contents

㈱アーク情報システム	・[佐々木 悠子さん]・001	パナソニックスイッチングテクノロジーズ㈱	・[小原 笑さん]・016
エア・ウォーター北海道㈱	・[大坪 雛子さん]・002	㈱ハナワ	・[杉本 渚さん]・017
㈱NTT東日本-北海道	・[森田 琴音さん]・003	㈱日立産機システム	・[増山 しおりさん]・018
サイバートラスト㈱	・[浅野 鈴果さん]・004	フジテック㈱	・[森川 つぐみさん]・019
三建設備工業㈱	・[山中 みのりさん]・005	富士古河E&C㈱	・[廣山 千容さん]・020
JA北海道厚生連遠軽厚生病院	・[本多 光里さん]・006	㈱ProVision	・[永島 優希さん]・021
シズン時計マニユアクチャリング㈱	・[富樫 朱可さん]・007	北開工営㈱	・[門口 貴美さん]・022
㈱ソルクシーズ	・[岩淵 莉央さん]・008	北海道ガス㈱	・[城浦 美優さん]・023
㈱ダイナックス	・[安部 光さん]・009	北海道曹達㈱	・[北澤 由梨亜さん]・024
㈱テクノス北海道	・[太田 優花さん]・010	㈱牧野フライス製作所	・[道藤 玲奈さん]・025
社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会	・[荒井 智子さん]・011	㈱牧野フライス製作所	・[村下 伊代称さん]・026
苫小牧市役所	・[志田 香穂さん]・012	三井化学㈱	・[藤澤 菜那さん]・027
西松建設㈱	・[上澤 れいさん]・013	村田機械㈱	・[中村 咲月さん]・028
日本精工㈱	・[杉澤 遥さん]・014	雪印メグミルク㈱	・[木島みなみさん]・029
公立はこだて未来大学大学院	・[青地 美桜さん]・015	社会福祉法人縁陽会	・[中村 彩音さん]・030

「面白そう」は立派な素質



佐々木 悠子さん

釧路高専 情報工学科
2010年度卒

株式会社アーク情報システム
営業部 営業担当
担当業務:法人向け営業
契約等調整

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私が在籍する会社では、お客様の要望に合ったシステムの開発や、建物などの構造物を解析するプログラムやツールの開発、実際に構造物の解析を請け負うといった仕事を多く行っています。他にもデータベースの構築・運用、プログラムの高速化、AIといった先進技術が得意な部署などがあります。

エンジニアとして入社した私は、研修後すぐにお客様先に常駐して、いくつかの現場での経験を積みデータベースやシステム管理に関わる知識を少しずつ付けていきました。しかし実はこの部署を希望していた訳ではなく、かといって仕事や会社を辞めたいという気持ちもないまま、漠然と何か新しいことに挑戦したいなと思っていました。そんな矢先、人員が不足している営業部への転部を打診され、思い切って異動を決めました。現在私が営業として担当することが多いのは、主に構造物の解析を行う部署の業務です。お客様との打ち合わせ調整や契約書の準備、請求時の確認といった事務的な作業はもちろんですが、法改正に対応するために契約内容を見直したり、契約時の条件を精査したりと、エンジニアが技術を提供することに集中できるように、業務のサポートを行っています。法務や会計の知識が必要なこともあるので、そういった資格取得にも取り組んでいます。



◆理系の学校・仕事はどうか？

いつも街へ出かけるときには高専の前を通っていたり、進学した先輩がいるので高専祭に遊びに行ったりと、高専は他の高校より身近な存在でした。この学校はなんか楽しそうだな、普通の高校じゃ味わえない学生生活が送れそう！就職率も高いし仕事に困らないかも！そんな期待が膨らみ、高専の受験を決めました。あと、進学先の候補だった他の学校は、自宅からはとても遠かったのです…。

理系だからというのは、あまり意識せず高専を進学先を選択しました。高専を卒業した後は大学・大学院へ進学し情報工学を専攻しましたが、結果として現在就いている仕事はエンジニアではありません。しかし、理系の学校で良かったのかなと思うのは、つぶしが効くということです。理系の学校で多くある発表の機会はどんな業種に就いても役立ちますし、学生のうちから筋道を立てて、論理的に考える基礎の力をつけられていたなと今になって感じています。また、先生や周りの友人からとても刺激をもらいました。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

「特に得意・苦手な科目もないし、普通の高校より面白そうだな…家から近いし」というような(ちょっとしょうがない)理由で選んだ進路でしたが、今となっては選んで良かった道だったと思っています。確かに、1年生の時に専門科目を含めて数学が3教科あったときには心が折れそうになりました。それでも、みんなで協力してレポートを完成させた思い出や、全く理解できず友達と教えあったテスト期間も、全てが糧となり、面白い経験となりました。

何が面白いと思うかは人それぞれですし、10代の間は特に、興味の対象は刻一刻と変わるものでしょう。ですが、もし高専という環境が「面白そう！」と思えたならば、それは立派な素質です。この環境を楽しむことができれば、理系とか文系といったことはあまり関係ありません。そんな枠を超えて活躍している先輩はたくさんいると思います。

みなさんが大人になって振り返ったときに「なんか面白かったな」と思えるような道を歩めるよう、心から応援しています。



大坪 雛子さん

釧路高専 電子工学科
2017年度卒

エア・ウォーター北海道株式会社
産業戦略部 産業営業部
産業ガスグループ
担当業務:ガス使用商材の営業
市場開発

◆現在、どのような仕事をされていますか？

皆さんはガスと聞いて何を思い浮かべますか？
弊社はそれらを扱い販売する「ガス会社」です。
身近なガスでは、暖房やコンロで使用するプロパンガス（ハローガスという名前でお馴染みかと思えます）や、病院など医療分野で必要不可欠な酸素ガス、炭酸飲料に使われる二酸化炭素などが挙げられると思います。その他もたくさんの種類があり用途は多岐にわたります。エア・ウォーター北海道では、LPガスや灯油など生活に密着したエネルギー事業、病院など医療現場で使用するガスを安定供給する医療事業、さまざまなモノづくり・製造現場を支え続ける産業事業の3つに分かれて業務を行っています。
私は産業事業に携わり、どこでどのようなガスが使用されているか市場調査を行っています。例えば、食品にガスを使用すると商品の品質を高めたり賞味期限を延長できたりします。普段皆さんが食べているお菓子（ポテトチップスなど）やお惣菜、飲み物などにも使用されているかもしれません。



「ミライの車」水素燃料電池自動車と水素ステーション

◆理系の学校・仕事はどうですか？

中学一年生の頃、姉の進学先が釧路高専に決定したことがきっかけで理系の分野に興味を持ち、釧

路高専に入学しようと決めました。釧路高専には5つの学科がありますが、中学生当時の私は理科の授業で電気回路を組むことが好きで、スマートフォンが普及し始めたこともあり回路・通信機器への関心が高まり、掘り下げて勉強してみたいと感じて電子工学科を受験しました。

入学してからは回路やプログラミングなど電子工学の基礎を学び、5年次から始まる卒業研究では、それまでに履修した中で最も興味深かった半導体材料の研究を行いました。研究では窒素ガスとアルゴンガスを使用したのですが、ボンベに「エア・ウォーター」の文字が印字されており、4年次に企業説明を受けていたこともあって一気にエア・ウォーター北海道へ関心が向きました。無事入社することができ、現在に至ります。
正直に話してしまうと、高専で学んだ電子工学の知識が仕事に役立つ場面はあまりありませんが、「物事の順序に条件分岐を付けて考える」「より良いものを作ろうと試行錯誤して何度も挑戦してみる」という理系ならではの考え方はとても役立っています。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

理系の学校は女子学生が少なく、学校生活がうまくいか不安に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、志を同じくしたクラスメイトと一緒に学べば、必ず楽しい学校生活を送ることが出来ます。5年という長い期間を経て高専を卒業するまでに、特に進級するにはクラスメイトとの助け合いが必要不可欠です。専門分野の勉強は人それぞれ得意な部分が異なりますので、教え、教わり…を繰り返していると、自然と友達も増えていきます。また、女子が少ないことが逆に連携を強めてくれるため、女子同士で仲良くなりやすいです。皆さんは現在、進路選択で悩んでいることと存じます。性別が理由で学ぶ学問が制限されることはありませんので、自分のやりたいことを思いっきり楽しんで下さい。

（comicoで公開されている「それゆけ女子高専生」という漫画がおすすです）

説明会や体験イベントで情報収集しよう



森田 琴音さん

旭川高専 電気情報工学科
2015年度卒

株式会社NTT東日本-北海道
北海道支店 設備部 サービスセンタ
担当業務:大企業向けビジネスホン
(PBX)の構築、保守

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私の業務は主に電話・インターネット設備の保守を行っています。

入社して1年目から3年目までは、お客様から電話やインターネットが使えないといった故障申告を受け、お客様宅へお伺いし修理をしていました。修理をするにも技術が必要ですが、長期間の研修で講師や先輩方から模擬設備を利用して丁寧に教わることができますし、現場へ同行して現場の空気感を感じながら経験を積むことができます。少しずつスキルを習得して独り立ちできた時には大きな達成感がありました。

4年目から現在までは今までの経験を活かし、PBXという大企業向けビジネスホンのデータ構築及び保守を行っています。PBXは構成や機能が多様で複雑であり、機種ごとに設定コマンドも異なるため、覚えることは膨大ですが日々自己研鑽に励んでいます。

また、私の職場は30・40代の方が少なく、若手社員とベテラン社員ばかりなのでまるで孫かのように可愛がってくれます。毎日お菓子を届けてくれる優しい人ばかりで、和気藹々と過ごしています。



◆理系の学校・仕事はどうか？

中学3年生の当時、私は将来像が明確にイメージすることができず、進みたい道を決められていない状態でした。そんな時、通っていた塾の講師から旭川高専を進められたのがきっかけで、多様な分野に活かせる理系を学び将来への選択肢を広げたいと思うようになりました。また、漠然と卒業したら就職をしたいという思いが強かったため、ほぼ就職率100%を誇る旭川高専は私にとって魅力的でした。入学後、私はどちらかといえば文系だったので数学や専門学に苦戦しましたが、5年間の学びが今の仕事に活かされており、また大学のような環境であったため社会人としての基礎的なマナー等が養われ様々な場面で実感しています。

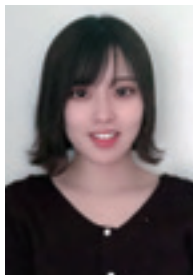
また現在の仕事を選んだきっかけは高専4年生の時の見学旅行で会社に伺った時でした。業務内容について聞き、初めて電線に電気が通っていないものもあることを知り驚いた記憶があります。またNTT東日本は福利厚生がとても充実しており、年次休暇20日の他に特別休暇(夏季、年末年始、結婚、出産、育児等)があり、出産、育児後のサポートも手厚いため選ばせていただいた大きな動機となりました。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

私と同じように自分のやりたいことや将来像がイメージできず不安な方もいらっしゃると思います。焦らず色々な方からお話を聞いたり、コロナ禍ではありますが説明会や体験イベントにできるだけ参加したりして情報を集めてみてください。その中で自分が何を重視したいのかが見えてくると思います。(私の場合は、進学より就職がしたい、福利厚生が良く産後の復帰のイメージができるところが良い等…)

また、自分は理系ではないから…と視野を狭めず、少しでも興味があれば選択肢の中へ入れてみてください。苦手意識を持たれがちな分野ですが、きっと今後の役に立ってくれると思います。

視野を広げ、多くの選択肢を知ろう！



浅野 鈴果さん

旭川高専 システム制御情報工学科
2017年度卒

サイバートラスト株式会社
PKI技術本部 プロダクトデベロップメント部
担当業務:ソフトウェア開発

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は2017年度に旭川高専のシステム制御情報工学科を卒業し、現在の会社に勤めて2年半ほどがたちます。

入社のかっけは高専で毎年開催されている企業説明会でした。数ある企業から話を聞いた中で、他とは違う認証セキュリティ事業という言葉にひかれましました。いずれは地元に戻り働きたいと思っていたので、東京と北海道にオフィスがあることも決め手の一つです。

実際に入社してみて感じたことは、福利厚生がとても充実しているということ。スーパーフレックスという出勤時間を自由に決められる制度や、テレワークという自宅です仕事をできる制度があり自分のワークライフバランスに合わせて仕事をすることができます。

業務内容としては現在はwebアプリケーションの開発をおこなっています。今の仕事では自分なりに知識をフル活用し、試行錯誤をしたり先輩方に指摘をもらいながら作業をすることで、知識の引き出しが増え次につながっていくことにやりがいを感じています。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

私は中学生のころ、身のまわりのもの、例えばテレビやスマホなどがどういう仕組みで動いているのだろう。こういった人々の生活に役に立てるものを作りたい。という漠然とした将来の夢を持っていました。

そんな中学一年生の時に友人にオープンキャンパ

スに誘われたことがきっかけで、高専という存在を知りました。就職率の高さ、1年生から専門科目を学べ多くの知識を身につけられることに魅力を感じ、高専への入学は即決でした。

私が進学したシステム制御情報工学科では、機械・電気・情報といった幅広い分野を学べます。ただ、学びながらも、これがほんとうにやりたいことなのかな？と不安に思ったこともありましたが、今ではソフトとハードの両面を学んできたことは、自身の強みの一つになっています。実際に就職してみて感じた高専の良さは、なによりも会社の即戦力として働けるという点です。私の会社でも全国の様々な高専の卒業生が、多様な分野で活躍しています。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

高専を迷われている方の中には、「工学部は女子が少なそうだし、楽しく学校生活が過ごせるかな。」などの不安を持っているかたもいるかもしれませんが。私も入る前こそ不安でしたが、5年間寮で生活をし、そこでかけがえのない友人と出会うことができました。女子が少ないという点は事実ですが、男女関係なく同じ目標をもった仲間と一緒に学ぶことはいい刺激になります。

会社でもエンジニアの女性は少ないですが、待遇や仕事の内容に男女差を感じることはありません。そして知っておいてほしいのは高専で学んだからといって、必ずその分野の仕事につかなければいけないわけではないということです。様々なことを学んでさらに視野を広げることで、多くの選択肢があることを知ることができます。そこから、自分が本当にやりたいことを見つけられると思います。私のように漠然と、「モノづくりが好き」「工学系に興味がある」というかたこそ、ぜひ高専にきてみてください。



山中みのりさん

釧路高専 建築学科
2014年度卒

三建設備工業株式会社
北海道支店 エンジニアリング部
担当業務:施工管理

◆現在、どのような仕事をされていますか？

当社は、建物自体を造る「ゼネコン」とは違い、建物内の空調・給排水衛生設備を施工する「サブコン」です。空調設備とはエアコンや換気扇などの機器、それに伴う配管やダクトのこと、衛生設備はトイレなどの衛生器具、水・お湯・排水、それらを通す配管などのことを言います。設備は建物にはなくてはならない存在なのですが、サブコンはあまり注目されていない業種かもしれません。

私は釧路高専を卒業してから、当社に入社し3ヶ月間、本社での研修を経て、北海道支店の工事部(現：エンジニアリング部)に配属されました。新築の現場に常駐し、「現場管理(安全・品質・工程・原価)」を行う仕事をしています。主に図面の作成や、機器・材料の発注、現場の巡視や機器の試運転などです。

施工管理は体育会系なイメージがありましたが、実際周りの人たちは多種多様で、明るい人もいれば、静かな人もいます。自分の得意なところを伸ばし、苦手なところを補え合える業種だと感じます。最初は女性が男性の職場の中でやっていけるか不安もありましたが、当社は女性施工管理者への支援や環境作りがしっかりしており、女性用トイレ・更衣室の設置やダイバーシティの対応が充実していたこともあり、今まで続けていくことができました。



◆理系の学校・仕事はどうか？

私は幼い頃から、建物の間取りや平面図を見るのが好きで、建築業に携わることが夢でした。

高校進学の際、親から「まだ建築に興味があるなら釧路高専の建築学科に行ったら？」と提案され、調べれば調べるほど、釧路高専に進学したい！と思い、進学を決めました。

在学中は設計の授業があまり得意ではなく、向いていないと思うようになりました。ただ、CADで図面を書くのは得意だったので、得意を活かせる仕事に就きたいと思い、施工図の作成を必要とする、施工管理の仕事に興味を持つようになりました。

就職活動を行うにあたり、長年住んでいる北海道に貢献できる企業に就職したいという気持ちがありました。当社は全国規模の会社ですが、希望勤務地に配属される特徴があるため、入社することを決めました。

今になっても、釧路高専の建築学科に進んで本当に良かったと心から思います。この仕事は設備の知識はもちろんです、建築の知識が特に重要で、知っていてよかったです！と思うことがとても多くありました。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

高専に在籍していた5年間は、自分の人生の中で一番の軸になっています。学生のうちに興味を持てることをたくさん見つけ、たくさんのことを学んでほしいと思います。そして自分の能力を活かせる企業・学校に進んで力を発揮してもらいたいと思います。また、学生のうちにしか出来ないことを今のうちにたくさん経験して、満喫して下さい。

現在、建設業界はもちろん、理系の女性技術者がまだまだ少ない状況です。働き方改革などの効果もあり、女性が活躍できる環境作りが少しずつ完備されてはきていると思いますが、足を踏み入れてくれる方が少ないのが現状です。私も最初は不安だらけでしたが、周りの人たちのサポートがあつてここまで続けられました。理系の女性というだけでも貴重な人材だと思いますので、是非学校で勉強したことが活かされる進路に進んでほしいと思います。



本多 光里さん

旭川高専 物質化学工学科
2013年度卒

JA北海道厚生連 透軽厚生病院
臨床検査技術科
臨床検査技師
担当業務:生理検査・採血業務

◆現在、どのような仕事をされていますか？

皆さん臨床検査技師という職業をご存知でしょうか？新型コロナウイルスの流行によりメディアで取り上げられる機会が増えてきたため知っている人もいるかと思いますが、一言でいうと、医療現場にて様々な検査を行い診療の補助をする技術者です。新型コロナウイルスのPCR検査も臨床検査技師が行っていることが多いです。

臨床検査技師の主な業務は2つあります。1つ目は採血などの検体採取業務。2つ目は患者様の血液や尿・便などの検体や、心臓をはじめとした身体の検査業務です。この業務はだれでも勝手にしていいわけではなく、臨床検査技師になるための専門学校・大学に通い、国家試験を合格し国家資格を得ることで行えます。

私は実際の医療現場にて、患者様の生体検査（心電図検査、心電図解析、脳波検査等）や、採血業務・当直での検体検査（PCR検査、輸血検査、細菌検査等）をしています。検査の仕事は、その結果が患者様の病気の有無や治療方針の指標になり医療の基盤となるため知識と技術を日々磨き勉強しているところです。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

小学生の頃から理科の実験が大好きでした。たくさん実験ができる高校に進みたいと考えていた時、旭川高専の体験入学に参加しました。そこで色々な実験を体験し、理系かっこいい！という単純な理由で旭川高専化学科に進学したいと思いました。部活一筋だった私の中学の成績は中の下あ

たりでしたので、体験入学後必死に勉強したのを覚えています。無事高専に入学し5年間化学を学び進路を考えたときに、高専4年生から選んだ生物コースで微生物や遺伝子についてとても興味がわき、何かを分析し検査する仕事に就きたいと考えました。そんな中、臨床検査技師という職業を知り、これだ！と思い、高専卒業後、北海道医学技術専門学校に入学して3年間勉強し国家資格を取得しました。臨床検査技師は責任重大で感染リスクもある職業ですが、技術の向上による達成感ややりがいは人一倍得ることができます。臨床検査技師として働く今、理系を選択したことを振り返ると悪くない選択をしたなと思いました。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

私が中学生の時は、理系かっこいい！理系に進みたい！と思う反面、理系が好きで文系なんて嫌だけど理系を選んだことで将来の幅が狭まるんじゃないかと不安を感じていました。進路を決めるときに、したくないことを無理に将来の選択肢に入れても結局選ばない可能性のほうが高いなど閃き、じゃあ理系一本でいこう！と決めました。

某動画サイトのCMで「好きなことで生きていく」とあります。好き勝手したらいいという意味で書いたわけではありません。進路を考える上でやりたくないことや興味のないことを仕事にするよりも、好きなことや気になる事を仕事にするほうが自ら努力しても苦痛を感じず、やりがいや楽しさを感じられると思います。途中で目標が変わっても皆さんは若いので勉強しなおしても全然遅くはありません。むしろより多くいろんなことを学ぶ機会ができたと考えてみてください。皆さんが将来のためにどのような進路を選ぶのかはわかりませんが、今の自分を知り、どんな選択肢があるのか、その選択肢の先にやりたいことはあるのかを一度考えてみると良いですよ！



富樫 朱可さん

釧路高専 機械工学科
2018年度卒

シチズン時計マユアケヤリウグ
株式会社 夕張工場
生産本部 第一部品製造部
夕張製造課 歯割係
担当業務:機械オペレーター

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は、腕時計部品の平歯車を製造するストロザックという現場で、部品を製造する機械オペレーターと品質検査（加工している製品が規格通りかを確認）を担当しています。機械オペレーターは主に、機械で使用する油の補充や定期点検、歯を加工する刃物交換、チョコ解除（一時的な機械停止）などの機械操作を行います。品質検査は、顕微鏡や投影機ゲージなどの道具を使用し確認します。現場には、同じ学校の先輩方や幅広い年齢の方々が働いています。入社後すべての現場をローテーションで回り、製造工程を勉強します。OJT研修では、配属先の先輩と一対一の直接指導を受けることができます。また、メンター制度では先輩とお話する時間があり、仕事の悩みや私生活の悩みを相談することができます。入社一年目から様々な現場の方々とお話する機会が多くあるのでコミュニケーションが取りやすく、女性と比較的に多い職場なので悩み事なども相談しやすいです。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

私が釧路高専を進路として選択した理由は、ものづくりに携わる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。ドキュメント番組や小学校の時に理科の授業で作ったロボットなどを通して機械に興味を持ちました。中学生の時、学校にあった高専のパンフレットを読んでオープンキャンパスに参加し、5年間専門的な分野の勉強ができることや将来就職しやすいということを知り機械工学科に進

学を決めました。今の仕事を選択した理由は、3年生の時インターンシップの説明会に今の会社が出展しており、地元の近辺にあることを知ったことがきっかけでした。4年生のインターンシップでは、一週間をかけて実際に新入社員研修と同じように各現場の仕事をローテーションで体験し会社の雰囲気を感じて、この会社で働きたいと思い就職しました。機械工学科で学んだ工場実習や知識は工場現場でも役立つことは多く、就職してから取得する資格の勉強にもその知識は役に立ちます。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

将来の進路を決めるとき自分が何をしたいのかよくわからない、どんな仕事があるのかわからないという人も多いと思います。趣味や興味のあるものから広げて考えてみてはいかがでしょうか。身近にある時計やTV、スマホ、自動車、エアコン、電気、水道、回路やIT、建造物など様々なものに企業があり仕事があります。もし、身近にある機械やものに興味を持って詳しく知りたい、その仕事がしたいと思ったときは、高専という選択肢も考えてみてください。全国の高専ごとに様々な学科や分野があります。5年間で知識の勉強から実習・実験などの授業を学び、在学中に資格を取得することも出来ます。就職や進学を考える時も先生方は親身に相談に乗ってくれます。就職活動時期になると毎年全国の企業から高専に多くの求人が来ます。高専に入学して卒業するまでの5年間で勉強しながら自分が何をしたいのか見つけてみてはいかがでしょうか。少子化が進む現代でも生活に関わるものづくりの業界は求人がなくなることはないと思うので、是非進路の一つとしていただければ嬉しいです。



岩淵 莉央さん

創路高専 情報工学科
2016年度卒

株式会社ソルクシーズ
クレジット基盤・運用部
担当業務:サーバー運用保守、
メンテナンス

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は株式会社ソルクシーズのクレジット基盤・運用部に所属しています。弊社はシステム開発部門(主にプログラミングを行う仕事)がほとんどなのですが、クレジット基盤・運用部は弊社で唯一のインフラ部門で、サーバーやネットワーク関連の仕事に取り組んでいます。

現在はクレジットカード会社のシステム運用・保守の仕事をしています。具体的には、サーバーのメンテナンスを行ったり、PCIDSS(クレジットカードの国際セキュリティ基準)を準拠するための保守や管理をしたり、障害が起きた際の復旧対応を行っています。サーバーメンテナンスではシステムバックアップやツールのアップデートを行っています。システムの障害が起きた際は迅速に原因を突き止め、なるべく早くシステムを復旧できるように先輩や同じチームの人と協力して問題解決に取り組めます。

今まで取り組んだ他の案件では、サーバー増強に伴うテストを行ったり、サーバーのアクセス制御やログ管理を行えるツールのインストール、クラウドコンピューティングサービスを用いた仕事などに取り組んできました。勉強することも沢山ありますが、やりがいのある仕事です。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

中学生の頃ゲームがとても好きで、ゲームクリエイターに興味があり、高専の情報工学科に行けばプログラミングが学べると思い、進学を決めました。また高専は5年制なので、高専に進学すれば大学受験しなくて済むな〜とも思っていました(笑) 就職する際も、高専本科と専攻科で学んだことを活かせる職種に就きたいと考え、IT分野を中心に求人調べました。プログラミングのできる仕事がしたいと思い今の会社に就職したのですが、会社に

入って最初の三カ月に行った研修を受けるうちに、プログラミングではない別の仕事がやりたくなってきてしまい、インフラエンジニアの仕事ができる部署に配属希望を出しました。急遽プログラマーからインフラエンジニアに職を変えましたが、今のところインフラエンジニアとして楽しく働けているので、この時の選択は間違っていなかったと思っています。高専ではプログラミングだけではなくインフラ分野の授業や様々な分野の授業を広く学ぶことができたため、インフラエンジニアとしてすぐに適応できて良かったです。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

これから進路を決めるにあたり、どうしたらいいかわからない方や悩んでしまう方も多いと思います。私が中学生の頃は毎日何も考えずに能天気生きていましたが、進路選択をするときはかなり悩みました。でも、あまり深く重く考えなくても良いと思います。選んだ進路を突き進むことができたならもちろん最高ですが、もし選んだ道が何か違うなと思ったり、別にやりたいことができたなら途中で進路を変えることもできます。それは学校選択だけではなく、就職してからでも同じです。私は転職こそしていませんが、前述したように就職してからプログラマー志望からインフラエンジニアに変わったので、進路を変えることは悪いことじゃないと思います。進路に限らず、大きな物事を決める際はよく調べることをおすすめします。沢山調べるにより選べる道も増えるし、比較して考えることができるからです。後は、夜中に考え込んで出した結論は話が飛躍して暴走しがちなので、よく眠って朝になってからもう一度ゆっくり考えた方がいいですよ。

面白さを感じた時が、本番のスタート！



安部 光さん

苫小牧高専 物質工学科
2013年度卒

株式会社ダイナックス
安全衛生・環境管理部
担当業務:安全衛生管理業務
環境管理業務

◆現在、どのような仕事をされていますか？

現在、安全衛生・環境管理部にて勤務していますが、2013年度に入社した際には在学時に取得したQC検定や、分析機器の使用経験を活かしたいと思い、品質管理部門で働いていました。そこでは生産工程や品質管理を学び、不具合品の原因調査や材料の受け入れ検査といった業務を実施していました。2015年に安全衛生・環境管理部より「化学物質の知識のある人材が欲しい」とのことで部署異動をしました。当時、化学物質に関する国内法令が厳しくなり社内対応が急務となっていた為です。そこから化学製品の管理、リスクアセスメント指導をメインに安全教育や社内安全衛生活動の推進といった業務に携わってきました。また、2020年7月より環境管理業務にも携わるようになり、廃棄物の分別や削減、製品の環境負荷物質の含有調査といった業務を行っています。直接製品を生み出す仕事ではありませんが、社員の命と健康を守る安全衛生管理と、地球環境を守る環境管理は社会的に欠かせない業務となっており、大変やりがいがあると感じています。

◆理系の学校・仕事はどちらですか？

私が高専に進学しようと思った理由は、兄が高専の物質工学科だったこともあり、自由な校風や就職率の良さから進学を決めました。実際に入学してからは化学実験の授業はもちろんですが、学校祭でも学科の特徴を活かした取り組みもあり、理系ならではの楽しさを満喫しました。現在の仕事では化学物質に関する法令や、化学製品を使用す

る際の安全指導等において在学中の実験の経験や化学の基礎知識が大変役に立っています。同じ理系でも機械系の人員が多い会社なので化学物質の知識がある人は少数です。そのような中で現場の作業者が安全に作業できるように様々な取り組みを実施していく中で専門的な知識というのはとても役に立ちます。また、理系に進学したからこそものづくりの現場で活かせる強みというのが確かにあることをよく実感します。理系といっても様々な分野があり、専門性を磨くことによって確実に自身のスキルに繋がると社会に出てからより強く感じます。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

これから進路を選択する皆さんはたくさん悩むことがあると思います。理系を選択したわたしからアドバイスできることは、現在の得意科目だけで選ぶのはもったいないということです。わたしは中学生の頃は圧倒的に文系科目の方が得意でした。国語と社会が得意で数学では躓くこともありました。理系学問の面白さについても高専に入って授業を受けるうちに理解するようになりました。しかし、苫小牧高専に進学して工業系企業に就職したことを後悔していません。今は出来ないことでも、ちょっとしたきっかけで面白さを感じた時からが本番のスタートだと思っています。理系分野に今興味がある人も、そうでない人も是非理系分野についてすこし詳しく調べてみてください。皆さんはまだまだたくさん自分を吸収できる年齢です。今よりもっと自分の可能性が広がるはず。「リケジョ」となった皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしております。受験勉強など大変なこともあるかと思いますが、体に気を付けて頑張ってください。

普通では体験できないことが出来る学校！



太田 優花さん

旭川高専 物質化学工学科
2019年度卒

株式会社テクノス北海道
環境分析センター
担当業務:水質汚濁防止法及び
下水道法に基づいた分析

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は株式会社テクノス北海道の、太田優花です。2020年に旭川工業高等専門学校で物質化学工学科を卒業後、入社しました。株式会社テクノス北海道では、環境衛生施設の運転管理をはじめ、施設補修工事、環境計量証明、電気保安管理など、確かな技術と経験で「快適な生活環境を守り育み、地域社会に貢献する」を基本理念とし、安心安全な生活環境の維持に取り組んでいます。私は旭川市下水処理センター内の汚泥処理係に配属され、分析業務に携わることになりました。業務内容は、下水処理での流入水や放流水といった水と汚泥等の分析で、決められている基準に適合しているかどうか、大腸菌群の数や浮遊物質量などを調べるといった内容です。11月から環境分析センターに異動となり、現在は、より多くの様々なサンプルの分析を行っています。右の写真は、COD（化学的酸素要求量）といって、水中の有機物を酸化剤で酸化した時に消費する酸素の量、つまり、汚染の度合いを、滴定という操作を行い、液体に色をつけることで調べています。COD以外にも、いろいろな項目の分析を行っています。

る先輩方に直接話を聞くことで、より興味と関心がかわき、「私も高専に行きたい！」「ここで専門知識を学びたい！」と思い、進路を高専の物質化学工学科に決定しました。卒業後の進路は、「地元である北海道で、何か役に立ちたい」、また化学を5年専攻していたため、「分析に携わる仕事がしたい」という思いから、株式会社テクノス北海道に就職を決めました。現在、周りの環境にも恵まれ、やりたいと思っていた仕事をする事ができ、充実した日々を送っています。ここで今思うことは、高専という進路を選んで良かったということです。今の仕事ができているのは、進路を高専にしたからだと思っています。そして、5年かけて得られた専門知識や実験等での経験、培われる技術は、私の財産、そして強みとなっています。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

高専では、中学校を卒業後、すぐに、1年生の段階から5年生にかけて、専門分野の知識を学ぶことができます。そして、専門知識を深く学べる環境が備わっており、普通の学校では、体験することのできない経験ができる学校です。そのような環境で得られた知識や経験は、就職後も、とても役立ち、私にとって、励みとなっています。また、高専では、勉強だけでなく、部活動や学祭など楽しいイベントがあり、そのような面でも充実していますし、近年、理系に進出する女子生徒に対しても格段に配慮されていて、様々な環境においてとても魅力的な学校だと思います。皆さんも、高専で専門知識を学んでみませんか？興味がある皆さんに、ぜひおすすめします。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

旭川工業高等専門学校を知ったきっかけは、中学校の部活の先輩の進路先であったことからでした。そこで、「高専ってどんなところだろう？」といった疑問や興味がわき、実際に体験入学に行くことになりました。専門学科の雰囲気や味わえる体験授業（実験など）を受けたり、先生や在校生

「自分のあり方」を逆算する！



荒井 智子さん

苫小牧高専 情報工学科
1999年度卒

社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会
苫小牧市男女平等参画推進センター
事務員・キャリアコンサルタント
担当業務:公共施設管理運営、女性活躍促
進事業等の各種事業企画運営

◆現在、どのような仕事をされていますか？

苫小牧市男女平等参画推進センターに勤務しています。行政や関係機関、市民団体等と連携し、男女平等参画社会の実現を目指して様々な事業や研修を実施したり、利用者に施設の提供をしています。また、キャリアコンサルタントの資格を活かし、ライフステージの変化に合わせた多様な働き方に関する相談支援や起業支援等、女性の社会参画支援にも携わっています。

この1年、コロナ禍の影響で急速に社会のデジタル化が進みましたが、デジタルサービスの利用が不慣れな方々にとっては生活面や働き方に大きなハンディを抱えることも。そのため、PCやスマートデバイスの操作方法、SNS等のコミュニケーションツールの使い方アドバイスを行う機会も多くありました。

苫小牧高専卒業後はIT機器保守会社に入社し、カスタマーエンジニアとして主に金融系・旅行系情報機器の保守に従事しましたが、結婚を機に退職。その後は育児、夫の転勤や苫小牧へのUターン移住等、ライフステージが変化するたびに私自身も仕事や働き方を変えてきました。これまでにインターネットサービスプロバイダでのテクニカルサポート、通信会社での営業事務、人材サービス会社でのキャリアコーディネーターを経て、今に至ります。

◆理系の学校・仕事はどうか？

私が高校受験をした1995年頃は、インターネットが日本で普及し始め、家庭でも一般的に利用され始めたとき。そのため「これからはITの時代だから」との家族の勧めで高専への進学を決めました。

IT社会では日々技術革新が起きているので、ITを使って新しい価値を創造したり、変化する社会に対応してスキルをアップデートし続けられる人材が求められるように感じます。在学中にその基礎を身につけることができたという実感は、社会に出てから気が付きました（高度な専門知識を5年間でギュッと学んだ在学中は、学習面で苦労することも多々ありましたが…笑）。

ライフステージの変化に伴い転職をしていますが、どの職場でも専門性の知識を活かせる場面も多々あり、高専に進学して本当によかったなと感じています。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

将来の夢をお持ちの皆さんは、なりたい自分を想像しその夢に近づくためにはどんなステップを歩めば良いかという「自分のあり方」を逆算して考え、一つ一つのステップを歩んでいってください。まだはっきりとした目標が見つかっていなかったり探している途中という皆さんは、自分の好きなことを深めたり、興味のあることを広げてみてください。好きなことに夢になることで、それがやがてご自身の武器になることでしょ。偶然をチャンスに変える5つのスキルをご紹介します。①好奇心＝様々な事に興味を持ち、②持続性＝努力を続け、③柔軟性＝起きた状況を柔軟に受け入れて、④楽観性＝学ぶ機会を活かそうと楽観的に捉え、⑤冒険心＝リスクを恐れず行動し続ける。**

自分の未来を切り拓いていく皆さんを応援しています！

** John D. Krumboltz. (2009). The Happenstance Learning Theory.

女性だからこそと自信を持って!



志田 香穂さん

苫小牧高専 環境都市工学科
2011年度卒

苫小牧市役所
上下水道部水道管理課
技師
担当業務:水道施設の維持管理業務

知識や経験で勝てなくても、日本以外の水道事業に触れ、知ることができたという経験が、今後の私の人生の強みや力に繋がると信じています。



◆現在、どのような仕事をされていますか？

高専を卒業後、故郷である北海道を出て、色々な人と出会い、多くの経験をしたと思い、東京都の企業に就職しました。そこで都市型の技術や知識を得て、現在は苫小牧市役所に勤めています。

前職・現職ともに水道事業に関する業務に携わり、どちらも技術部門で、工事の現場監督や、水道管の設計、維持管理を行っています。

年齢層も幅広く、男性社員が非常に多いですが、人々の生活に欠かせない、重要なライフラインの一つである水道に関わり、おいしい水を安定的に供給するための一部になって、生活の基盤を担っているという責任は共通認識で、課題や問題が発生すると、積極的に発信し、共有することのできる職場です。

そして一度の転職を経験し、前職で水道の第一線で働いたことは、技術職の人間として非常に強みになる部分で、技術者としてのスキルを大きく飛躍させることができた実感しています。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

これから進路を選択される皆さんへのアドバイスは3つあります。1つ目は、積極的にコミュニケーションをとってほしいです。これは私自身学生時代に、学校でもアルバイトでも感じたことですが、人生において重大な選択をする際に最も強力な味方は情報力だと思います。情報を多く効率よく集めることで、選択肢の幅や視野も大きく開けますし、何より吟味することができるので、後悔しない道を選ぶことに大きく貢献してくれると思います。

2つ目は、迷ったら大いに周りを頼ってください。ただ何も考えず、調べず、人に聞けばよいということではなく、自分は何がしたくて、嫌で、どこがわからなくて、どこまでわかっているかなど少しでもいいので、自分を持って周りに頼ってください。自分のことは自分が1番わかっているように思えますが、改めて客観的に指摘してもらうことで、今まで自分では気づけなかった強みや弱みなど、少しずつ見えてくることもあります。

3つ目は、女性でも十分に技術の分野で活躍できるということです。高専同様、実際の職場では男性が圧倒的に多いです。また女性にとっては大変な仕事もあります。しかし、女性だからこそ可能になる仕事内容も数多く、私の場合は、工事の交渉や苦情対応など、一般の方に業務内容を説明する際に、女性である自分が確かな知識と責任をもって真摯にお話しすることで、技術の第一線で一生懸命活躍しているんだとスムーズに交渉を進めることができたり、男性では気が付かないような、きめ細やかなサービスを提供することもできます。

また最近では様々な方面で、本校の先輩方が活躍されていることもあり、多くの企業で女性のための福利厚生を重視して整え、多く採用したいと公言しているところもあります。ですから決して女性だから不利になるのではなく、女性だからこそと自信をもって、強みに変えてください。

技術職として一緒に活躍できる日を楽しみにしています。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

私が高専へ進んだきっかけは、中学3年生の時に高専祭へ訪れたことでした。当時の私は夢や目標が特になく、ただ漠然と普通高校へ進学し、それからやりたいことを見つけたらいいと考えていました。

そんな時、各専門系の体験コーナーで、高専で学ぶ内容は、私たちが生活する上でとても大切な知識や技術を身につけることができることを知り、また屋台、コンテスト、制服ではない自由な服装も、高専へ進むきっかけになりました。

高専を卒業後は進学ではなく就職をしたいと決めていたので、学生生活5年間は、学業のほかに色々なアルバイトも経験し、積極的にコミュニケーションをとることを心がけていました。

就職後も、水道事業に携わる技術者として、職場内外問わず、人との繋がりを大切に、意識しながら過ごしています。またその繋がりがきっかけで、日本だけでなく、国外の水道事業に触れることもできました。

この国際研修に参加したことで、新たな発想を生み出す一歩や、きっかけになったと思います。周りの先輩技術者には、まだまだ



上澤 れいさん

釧路高専 建築学科
2015年度卒

西松建設株式会社
AW白石出張所
担当業務:現場管理

◆現在、どのような仕事をされていますか？

当社は総合建設業（ゼネコン）と呼ばれる建設工事一式を行う会社です。私はその中で施工管理という職種に属しています。施工管理とは大きく分けて5つの項目Q(品質)C(コスト)D(工程)S(安全)E(環境)を管理する職種です。この職種のいいところは色々な種類の建設に携われることです。規模によって異なりますが短いもので1年～長いもので3年程の工期で様々な建物を建設していきます。建物によって工法や仕上げが異なるため膨大な知識を要する仕事ですが、建物が完成した瞬間は実際に携わった人にしか味わうことのできない感動と達成感があります。もうひとつ、さまざまな人と関われることも施工管理のいいところです。建設現場には管理を行う現場監督をはじめ作業する職人さんが大勢います。職人さんが作業しやすいよう調整をしたり打ち合わせをしたりと職種・職人さんの数だけ多くの方と交流をもてます。職人さんとの信頼関係を築けたときはとても嬉しいです。

私は今年で入社5年目になります。これまでマンションや立体駐車場の建設に携わり現在、冷凍冷蔵倉庫の建設を行っています。冷凍冷蔵倉庫という特殊な仕上げの工事であるのと着工時から現場をメインで任せて貰えるという新たな環境を楽しみながら完成まで全力を尽くします。

◆理系の学校・仕事はどうか？

私は幼いころから建物に興味がありました。興味といっても建物のデザインを眺めるのが好きという程度のものでした。そんな私が建設業を目指すきっかけとなったのは、小学生の時に祖父母の家の建替えを行った現場を見たときにゼロ（更地）から人の手・技術を使って建物を造り上げる光景を見て感動したからです。恵まれたことに地元釧路に高専があったので夢である建設業を目指すため高専に入学しました。高専での生活は、5年間で専門的な勉強・知識を学ぶことができ、またいろいろな実験や体験をすることができました。実際に建設現場に出て、初めは体力を使う仕事だと思いましたが仕事をしていくにつれ、品質良く無駄の無いよう建物を造る方法を学び、指示一つで効率よく仕事を回すこともできるようになると新たな仕事に手をかけられるため仕事の幅がどんどん広がって行くのを実感できます。さらに、自分の思い描いていた通り施工できた時はやりがいがあります。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

建築に限らずものづくりはとてもやりがいのある仕事だと思います。理系の道に進むことはものづくりに携わる近道だと私自身実感しております。建設業の仕事と聞くと男社会というイメージを持っている方が多いと思いますが、現在は女性の現場監督や職人さんが多くなってきていて働きやすい環境も整っています。

最後に「こんな仕事がいい」という思いを持ち続ければいつかは実現できるものです。自分の夢や進みたい道をあきらめず、後悔しないよう頑張ってください。

自分が後悔しない道へ！



杉澤 遥さん

苫小牧高専 機械工学科
2016年度卒

日本精工株式会社
試験研究部
担当業務:ボールねじの性能評価
客先返却品対応など

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は2017年3月に苫小牧高専の機械工学科を卒業し、同年4月から日本精工株式会社(通称NSK)で働いています。新入社員研修を経て、2017年8月に1つ目の職場である「生産技術センター 知能化技術開発部」に配属されました。知能化技術開発部は、自社工場のIoT化や自動化を進めていく部署で、私はロボットなどを使った自動化システムの検討・開発、工場導入を行うグループにありました。ここで約3年間、業務に励みました。

その後、2020年10月、現部署の「直動技術センター 試験研究部」に異動しました。製品の性能試験や品質向上のための基礎評価、不具合品の調査などを行う部署です。ボールねじという機械部品を扱うグループに配属され、日々ボールねじの試験に励んでいます。配属から4ヶ月ほど経ちましたが、まだまだ覚えることは多く、勉強の毎日です。

この異動は若手人材育成の一環で行われたものです。将来に向けて様々な経験をしたく、業務内容が全く異なる部署への異動を希望しました。職場が変わると仕事の進め方や価値観が異なっており、戸惑うこともあります。新たな発見も多くて楽しいです。早く現部署で貢献できるように頑張っていきたいと思います！

◆理系の学校・仕事はどうですか？

私は苫小牧高専に進学して、少しだけ後悔したことがあります。それは、理系の子以外とほとんど関わることなく5年間を過ごし、視野が狭くなったことです。

会社の同期入社の子には文系出身の子も多いです。日本語専攻の子は、言葉遣いがとても綺麗で、たまに話す独特な表現が面白いです。経済学部出身の子は、会社経営に詳しく、会計関連の専門用語を教えてくださいました。外国語大学出身の子は、3か国語を話せます。個性豊かな同

期と出会い、自分の知識の少なさや、経験値の低さにショックを受けました。

あくまで、個人的な意見ですが、理系と文系に優劣はないと思います。どちらも素晴らしい学問です。ただ、どちらかに偏りすぎると、自分の世界を狭めてしまう気がします。理系を選んだからといって、理系だけに染まらないような時間を過ごすことが大切だと思います。

そこで社会人になってからは、心理学や哲学の本も読んでいます。これらを知ることによって人生がより豊かになるのでは、と期待しています。



ボールねじの写真

NSK 精機製品のカタログ B12ページから引用

◆女子中高生の皆さんへひとこと

世の中は実際に経験しないとわからないことが多い気がする気がします。そのため、入学後や就職後に、「なんか思っていたのと違う…」と感じることがあったりします。

ただ、将来感じるかもしれないこの違和感は、人生の諸先輩方との対話によって軽減できると思います。両親・学校の先生や先輩方・塾の先生・バイト仲間など、たくさんの人に相談してみてください。様々な意見をもらい、もう一度よく自分を見つめ直して決めた進路であれば、多少の不安感にも耐えられると思います。

でも万が一、進んだ先での「なんか違う」に我慢できなくなったら、遠慮なく進路を変更して良いと思います。これまでの時間やお金ももったいない気もしますが、自分が納得できる道を選んだほうが、断然幸せでしょうから。

もし遠回りをして、その経験があるからこそ得られるものもきっとあります。そして、得たものは皆さんをより魅力的にしてくれるはずですよ。

ぜひ、自分が後悔しない道へ進んでください！皆さんの活躍をお祈りしております。

就職だけではなく、大学進学之道も！



青地 美桜さん

苫小牧高専 情報工学科
2017年度卒

公立はこだて未来大学大学院
システム情報科学研究科
博士前期課程1年
研究テーマ:ICカードデータを用いたバス
乗車人数予測に関する研究

◆現在、どのような研究をされていますか？

私は現在、函館市にある公立はこだて未来大学で、交通系ICカードに記録されているデータを用いて路線バス内の乗車人数を予測する研究を行っています。最終的には、バス利用者が混雑していないバスを選択して乗車できるような環境を作りたいと考えています。使用しているICカードのデータは函館バス株式会社様からデータを提供いただいて、研究を進めています。他企業様からデータを提供していただいて研究をする機会はあまりないかもしれませんが、実データを使用して研究を行うのはとても楽しいです。また、大学内の発表だけではなく、学外の学会発表にも参加し、定期的に研究発表を行っています。

進学の話ですが、私は、高専から大学、大学から大学院への進学はすべて推薦入試を受けています。成績はある程度必要かもしれませんが、推薦入試の場合は面接のみの試験になるため、面接対策に集中することができます。また、高専でも大学でも、筆記試験対策時間が減るため研究時間にあてることができるので自分がやりたいことに集中でき、とても有意義な時間を過ごすことができます。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

私は、高専ではあまり詳しく学べなかった分野について興味を持ったため、大学進学を選択しました。高専3年時にインターンシップへ参加し、システムエンジニアの仕事体験をさせていただきました。このときに自分はシステムエンジニアの

道へ進みたいと考えるようになりました。また、このインターンシップではシステムを作成する工程ではなくサービスを企画・提案する工程を体験させていただきました。私は、このシステムを企画・提案する工程に興味を持ち、もっとこの工程について学びたいと思うようになりました。これらを学べると感じた今の大学へ進学しました。今の大学へ進学した後は、高専であまり学べなかったサービスを企画・提案する工程について、演習を含めとてもたくさん学ぶことができました。また、研究も大学院へ進学することを考えていたため、3年計画で研究を進めることができています。さらに、高専から大学院までの8年間で、自分のキャリアプランについてゆっくり考えることができたため、現在就活を行いやすい状況になっています。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

進学先の選択肢に高専をいれるのは難しいと思います。ですが、高専では専門的なことをいち早く学ぶことができます。5年間という周りとは違う学生生活を送ることが不安かもしれませんが、特に問題はありません。得られることがとても多い5年間で、周りとは違う生活を送っていることは気にならなくなります。また、普通高校と比較して女子学生が少ないイメージがありますが、最近では女子学生の数も増えてきています。ですので、心細い気持ちになるようなことはありません。さらに、5年間の高専生活で築き上げてきた絆はとても素晴らしいものになります。卒業してから3年経ちますが、現在も高専時代の同期ととても仲良くしています。

最後に、進路は就職だけではなく、大学への進学という道もあります。大学進学は大学3年次に編入学することができるため、周りに同じ年齢の学生がいる状態で大学生活をスタートさせることができます。高専を選択しても進路にはたくさん選択肢があるので、ぜひ高専を進学先の一つに検討してみてください。

自分を信じて諦めずに頑張っ欲しい



小原 笑さん

釧路高専 電子工学科
1998年度卒

パナソニック スイッチング
テクノロジー株式会社
AMR品質総括 市場品質部
市場品質二課
担当業務:市場技術担当

◆現在、どのような仕事をされていますか？

当社はリレーの生産を行っており、商品企画・開発から生産を支える工法設計、金型・設備設計まで全て自社開発で行っている会社です。市場の需要により海外生産展開もしております。

リレーとはスイッチを電氣的に動かすものであり、車等私達の身の回りのあらゆる所で使用されております。

その中で私は市場品質を担当しています。

具体的には、お客様がリレーを使用していて不具合があった場合、本当にリレーが原因なのかの調査・解析を行いレポートを作成するという業務や、万が一リレー側に不具合の要因があった場合には、各部門と協力をし原因調査から改善を行うという業務を行っております。また、工程監査の対応やお客様から要求のあった品質資料の作成等も行います。

業界最高水準の品質を保つ為に、日々色々な事を学んでおります。

職場では私以外市場品質担当者は男性ばかりですが、Panasonicグループで市場品質を担当している女性とお仕事をさせて頂いたりもしています。

◆理系の学校・仕事はとうですか？

当時の私は特に将来の夢もなく、結婚しても続けられる仕事をしたいだけ思っていました。ですので、理系の学校を選んだこれという理由は残念ながらありません。当時は高専という学校の存在も知りませんでしたが、父の知り合いでお子さんが高専に通っているという人の話を聞き、休みが多いこと、卒業すると短大卒と同じ扱いになること、就職率が良いという単純な理由で高専への進学を決めました。

また、当社を選択した理由は道内に就職がしたい。結婚してからも続けられる仕事がしたい。という理由が大きな理由です。

私の頭の中には常に学ばなければならないという想いがあり、理系を選択しても文系を選択しても学ぶことには変わりはないという気持ちがありましたので、特に理系を・・・意識したことはありませんでした。

今こうして仕事が出来ている事、高専生活や社会人生活を通して得たものも多く、自分の選択に間違いはなかったかなと思っています。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

Panasonic 創業者の松下幸之助のこばに「道」というこばがあります。希望をもって歩んだら必ず道はひらけてくると思いますので、自分を信じて諦めずに何事にも頑張っ欲しいなと思います。失敗しても良いし、分らない事があっても良いと思っています。失敗したらそこから学び次に繋げ、分らなかつたら分らないと素直に聞き学べばいいと思います。色々な事にチャレンジして沢山楽しんで欲しいなと思います。

また、今は理系を選択する女性も沢山いると思いますので、理系を選択しても将来安心して働ける事が出来ると思います。



挑戦することの大事さ!



杉本 渚さん

旭川高専 機械システム工学科
2011年度卒

株式会社ハナワ
生産管理
担当業務:生産管理業務・
部材の加工・塗装業務

◆現在、どのような仕事をされていますか?

過去、惣菜食品メーカーの工場、理化学・医療機器の販売・修理、鉄工所を経て、現在は良いご縁を頂き、無垢フローリングの製造メーカーで生産管理業務兼工場での加工・塗装作業をしています。違う業種・職種に就くことは毎々覚えることが多いですが、知らない知識を得て自分の糧に出来ることがまた一つ楽しみだったりします。

(株)ハナワは、北海道初となる無垢フローリングに特化したショールームを運営する(株)シーゲルの製造部門の関連会社として、スタンダードな無垢フローリングはもちろん、デザイン性に長けたおしゃれなカフェのような演出してくれる壁材であったり、お部屋に合わせたテーブルなどの家具をオーダーメイドで対応と、常に最新のトレンドを全国に発信し続けています。

機械科出身の私には、鉄鋼にはない無垢の温かみを感じられることがとても新鮮です。はじめは畑違いの私かと、悲観的に考えてしまいがちでしたが、“ものづくり”をするにあたっては、機械や材料が違って作るまでの過程を楽しみ、完成品を想像しながら作業をしていくことがものづくりの使命ではないかと思っています。

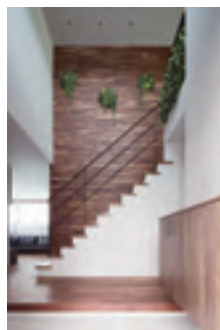
◆理系の学校・仕事はどうですか?

過去様々な職場を経験していますが、一貫しているのは、“ものづくり”です。

私のものづくりの始まりは、小学校低学年のころ初めて行った親子木工教室です。小学校低学年ですが、作業は刃物を扱って加工をさせてもらって

いました。その後、電子・電気・化学・コンピュータなど様々な理科教室を中学1年生くらいまで。現在では、ジェンダーレス・無差別化が普通になっていますが、私のところは普通ではなく進路で選んだ学科が“機械”ということもあり親とも揉めましたが、それでも一貫して“ものづくり”にこだわりを持っていたので、今の自分がいると思っています。

一般校とは違う、高専の学生生活の中で培った協調性や知識、適応能力は社会人になった今、どの職場に行っても、どんな職種であろうと常に新しい知識を得て、どんな機会にも柔軟に繋がられているかな?と思います。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

自分の学生時代を振り返って、ぜひ、皆さんには“挑戦することの大事さ”を忘れないでほしいなと思います。もちろん、皆さんが今、机に向かって一生懸命勉強していることはとても大事なことです。しかし、社会に出るとそれがすべてではありません。よく言われる“ホウレンソウ”これは机に向かっていただけでは身につけません。人に伝える・聞く、その中から自分で重要なものの判断を強いられる状況が多々あります。それでも、人と会話をし、沢山の事に興味を持つことで情報を得て、自分で見たものが確信・自信へとつながり、未知な事にも挑戦をし、自分の視野・行動範囲を広げていくことを皆さんには続けてほしいです。是非、自分のやれることに制限をかけず、いろいろなことに挑戦をして沢山の知識を得てこれからの人生、柔軟に渡り合える能力を身に付けて頂きたいと思います。

数年後の自分を想像して見てください!



増山 しおりさん

旭川高専 機械システム工学科
2010年度卒

株式会社日立産機システム
制御システム設計部
担当業務:インバータ顧客専用用品設計

◆現在、どのような仕事をされていますか？

皆さん初めまして。旭川高専OGの増山です。私が勤めている㈱日立産機システムは産業電機の製造、販売、保守・サービスなどを行う電機メーカーです。勤務地である習志野事業所ではモータやインバータなどの製造を行っています。

2011年4月に入社し、太陽光用パワーコンディショナのハード設計や、ソフト設計に携わり、途中約8か月間の産休・育休を取得後、現在は顧客専用用品のインバータ設計を担当しています。機械系の学科を卒業し電機系メーカーに就職したため分野の違いに苦労も多いですが、優しい先輩や上長に支えて頂きながら日々楽しく仕事をしています。



◆理系の学校・仕事はとうですか？

私は小さい頃から“機械”というものに興味があり、ビデオデッキ(って知ってますか?笑)の上蓋をドライバで開けてビデオテープが出し入れされるところを眺めたり、学校から帰るとひたすらブラインドタッチの練習をするような子供でした。でも将来の夢などは全く無く、ただ義務教育を受けて部活動に励む日々を過ごしていました。

そんな私が旭川高専に進学を決めた切っ掛けは、中学2年の冬に行われた進学説明会でした。“高専”という学校の存在をその時まで知らず、工学分野の勉強を高校から始められることに衝撃を受けました。「ここしかない」と直感し、進学を決めていました。金銭面の問題もあったので、短大レベルまで国立の授業料で通えること、就職に有利なところも私にとってはかなりの利点でした。機械システム工学科を選んだ理由は実習授業の“エンジン分解”に興味をそそられたからだった気がします。今思うとかなり雑な選び方でしたが、将来の進学・就職まで見据えての選択はその時の自分にはできませんでした。ただ、就職して感じたことは工学の世界は繋がっているということです。電機系のメーカーでも機械系、制御系、化学系の業務があり、機械システム工学科で学んだことが全て無駄にはなった訳ではありませんでした。あえて違う分野の部署に配属させる会社もあるくらいなので、まずは面白そうだなと思う学科を選ぶのも間違いでは無いのかなと思います。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

今皆さんが立っている人生の岐路に何本の分かれ道があるかはわかりません。皆さんにとって工学の道が正しいかもわかりません。機械加工をすれば油まみれになるし、鉄は重いし、女子は少ないし。お薦めできることの方が少ないですが、“モノづくり”って楽しいです。これだけは胸を張って伝えられます。

将来の「選択」をするために皆さんがすべきことは「情報収集」と「想像する」ことだと思います。文系なのか、理系なのか、それだけでもいいんです。数年後、進学・就職の選択をするときの自分を想像してください。そのために必要な情報収集をしてください。高専を選んだ時の私にはできなかったことを皆さんには是非して欲しい。

そして、悩み抜いた末に工学の世界を選んでくれた時には、心から歓迎します。

同じ世界で一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

社会になくてもはならない仕事ができる



森川 つぐみさん

釧路高専 機械工学科
2017年度卒

フジテック株式会社
首都圏統括本部 横浜支店
担当業務:エレベータ、
エスカレータ保守

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私の仕事は「エレベータ・エスカレータ」に安心安全にご利用いただくため、保守点検、年次検査、故障対応等を行うことです。

主な作業は保守点検作業で、毎日4,5件ほど現場を周り、点検してない期間の異常の確認や、機器の調整等のメンテナンスを行っています。

しかし、メンテナンスと一言で言っても、注油や動作確認などの単純な作業から、数値がシビアなブレーキの調整など作業は様々です。また、最近は建設ラッシュにより、横浜支店管轄内に新しくエレベータやエスカレータが100台以上設置されました。その中には初めて見る機種もあり、点検に行くたびに、知らないことや出来ないことがまだまだだと気付かされています。

私はもうすぐ入社4年目となり、社内では一人前として扱われる経験年数になりました。ですが、現状はまだまだ半人前な知識や技術しかないので、毎日少しずつでも学ぶ意欲をもって励み、一人前のメンテナンスマンになろうと努力中です。

フジテックでは、全体で10名以上の女性メンテナンスマンが現在活躍中です。最近はリケジョという言葉が知られてきて、現場職でも女性も動きやすい職場環境が増えてきています。女性が少ないという言葉を恐れず、自分にあった職をぜひ探してみてください。



◆理系の学校・仕事はどうか？

私は、1年目から理数系の授業が多く、工場や実験室で実践的に技術や知識を学べることに、有名企業への就職しやすさに惹かれ、高専の機械工学科を選択しました。

機械工学科はレポート提出が大変でしたが、旋盤や全自動工作機を扱うことや、鑄造などの実習・実験授業がとても好きでした。そこで、ものづくりに関わる現場職に就こうと決めました。

就職活動の際、合同企業説明会や各社の説明会に参加し、女性でも活躍できる現場職を探したところ、フジテックという高齢化社会に欠かせない社会インフラであるエレベータ・エスカレータメーカーに出会いました。

私はそこで社会になくてもはならない仕事ができることと、すでに女性メンテナンス部員が何人も活躍しているという話を聞き、とても関心を持ちました。これをきっかけにフジテックでメンテナンスをやりたいという気持ちが強くなり、面談練習に打ち込み、無事入社することができました。

就職してからは、やりたかった現場仕事に就けたこともあり、難しく、大変なこともやりがいを感じながら取り組んでいます。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

もし今、自分のやりたいことがわからないと悩んでいるのであれば、知らない学校や会社、企業説明会へ道内外どこへでも行ってみてください。現在はコロナで移動が難しいと思うので、リモートでOB,OGや人事部の方と話すのもいいと思います。

また、寮生活や1人暮らしになることをためらわず挑戦してみてください。

私の場合、高専が家から遠かったため寮に入らなければならず、15歳で家を離れることに少し不安を感じていました。しかし、いざ入寮してみると寮母さんが優しくしてくれたり、気の合う友達ができたり、お菓子を作ってみんなでパーティしたりと楽しい日々を送れました。また、現在は実家を離れてひとり暮らしをしていますが、自炊や洗濯など寮生活でしていた経験が活きていると思いました。今となっては本当に入ってたよかったです。

私は、学校や会社へ直接行って見聞きすることで、なにがしたいか具体的なイメージをすることができました。資料だけではわからない情報はたくさんあります。納得のいく進学・就職先をぜひ探してみてください。



廣山 千容さん

旭川高専 電気情報工学科
2019年度卒

富士古河E&C株式会社
工事技術本部 技術研修センター
技術研修所

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は、総合設備工事会社で技術職として勤務しています。現在は、1年間の新入社員研修を受けており、来年度以降は、送電インフラ事業部に配属されることが決まりました。1月の実習は、配属先の現場で行うことになります。工事期間や効率を考えながら、作業員の方々に安全に作業をしてもらうことが最優先となります。

研修中は安全面に関して、深く学ぶことが多いです。ほかにも、ビジネスマナーや、現場実習などの研修もあり、手厚く教育されております。

また、研修中には第一種電気工事士という資格を取得するため、私も今年試験を受けました。下は、その講義中の写真となります。研修が多いので学生気分がちょっと続いていましたが、現場実習などで実際に動いている建設現場に行くことで多少は解消したと思います。

さらに、研修だけではなく江の島海岸清掃などのボランティア活動もおこないました。本来であれば社内の懇親会も多くあるそうですが、今年はコロナ禍でことごとく中止となり、とても悲しいです。



◆理系の学校・仕事はどうか？

私は、旭川高専を選んだ理由としては、プログラミングが楽しそうですし、電気も面白そうだったので電気情報工学科を志望しました。結果的に電気科に入ることができてよかったと思います。仲のいいクラスではありませんし、寮生活で仲のいい人ができたかと言われたら全くそうではありませんし、自分もいい学生だったとは口が裂けても言えません。また、結局電気についてもプログラミングにしても奥が深すぎて私はそこまで習得したいと思えず、赤点ぎりぎりの生活をしていました。でも、最後思ったのは、楽しかったからいいかでした。また、かけがえのない友人とも出会えたので悪くない学生生活だったと思います。ただ、こんな人のまねをせず、むしろ反面教師と思ってほしいです。

また、現在技術者として入社し、研修を受けていますが、ここでやはり、学生時代もっと勉強しておけば今やっていることをもっと深く理解できるのに、とも思いました。しかし今も楽しいですし、これからの仕事もとても楽しみです。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

今、この記事を見ている皆さんは、進路を考える時期に差し掛かっていることだと思います。やりたいことが見つからなくて、進路をどうしようと悩んでいる方もいらっしゃると思います。そういう時は、何となくで決めてもいいと思います。ただ、目標をもって日々を過ごしてみてください。人間、目的を持たずに過ごしているとモチベーションが下がります。そうすると学力の低下につながり、せっかくのチャンスを逃します。私も在学中にモチベーションが下がり、学力も下がりました。そうするとなかなか、持ち直すのにも根気が必要で、私は結局低下し続けたままでした。そんな中、拾ってくださったこの会社には感謝しております。ただ、学生時代から頑張っていれば会社には選ばれるのではなく自分が選べるという立場になれたなとも思います。学生時代というのはやはり特別なので一日一日を大切にしてもらいたいと思います。

色々なことに挑戦してみてください!



永島 優希さん

旭川高専 電気情報工学科
2019 年度卒

株式会社ProVision
札幌開発センター
担当業務:RPA(UiPath, OCR, WinActor,
VBA)のワークフロー作成

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は札幌駅の近くにオフィスがある株式会社ProVisionの札幌開発センターで働いています。

札幌開発センターでは社員、アルバイト合わせて約100名の方が働いており、WEBやスマホのアプリなどのソフトウェア開発(設計、プログラミング)やRPA(業務自動化ツール)を扱う業務や、スマホなどのアプリが正しく動作するかチェックする品質検証業務(テストやデバッグ)を行っております。

私はその中でRPAのエンジニアリング業務というものに携わり、色々なRPAのツールの扱い方や実際に自動化のシナリオを作成する勉強を日々おこなっております。現在は、コロナ禍ということもありテレワーク中心で仕事をしていますが、チャットサービスやWEB会議を扱い、会社に出社して仕事するのとそれほど変わりなく仕事が行えています。



◆理系の学校・仕事はどうですか？

中学生の頃はプログラミングと触れ合うことがなかったのですが、親の紹介で高専の存在を知っ

てから、プログラミングが学習できるということに興味を持ち始めて、高専に入学したいと思い始めました。それから試験の模試を何度も解き直したり、テスト勉強を頑張って、電気情報工学科に無事に合格することができました。入学後は、C言語、Java、Pythonといったプログラミング言語を学び、動画や画像の物体抽出、話者認証システムの作成等を行いました。また、プログラミングのほかにも電気回路を学び、実際に電気回路を作ってオシロスコープで電流の波形を観察するという実験も行いました。そのため、日々レポートや課題に追われて、ついていくのがすごく大変でしたが、この経験のおかげで希望の会社に就職でき、仕事をするうえでも大いに役立っています。社会人になってからも、まだまだ学ぶことが多いですが、忙しいながらも充実した日々を送っております。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

学生の時にやってほしいことが主に二つあるのですが、一つはパソコンをいじっておいた方がいいということです。タイピング、Excel、Wordは覚えておけば、大学、社会に出たときに役立ちます。実際私もタイピングを中学生の時から練習していたため、高専でレポートを作成する際もタイピングが早いおかげで楽に作成できました。

二つ目は、人と接する機会を増やした方がいいということです。もちろん勉強することも大事ですが、これから社会に出ていくにあたって、報告・連絡・相談、敬語、礼儀が大事になってくるため、学生のうちに部活やクラブ活動などを通じてコミュニケーションを学んでおくことは大切です。私は昔からコミュニケーションが得意な方ではなかったため、報連相や礼儀に苦労しており、今はビジネスに関する本を読んで勉強しています。

最後にはなりますが、私が言ったことだけではなく、学生の時に経験したことは今後役に立つので、皆さんもぜひ色々なことに挑戦してみてください。

やれる時にやれる事を！



門口 貴美さん

苫小牧高専 土木工学科
1987年度卒

北開工営株式会社
技術部 土木グループ
副技師長
担当業務:土木調査・設計

◆現在、どのような仕事をされていますか？

最初は苫小牧市内の建設コンサルタント会社に入社しました。

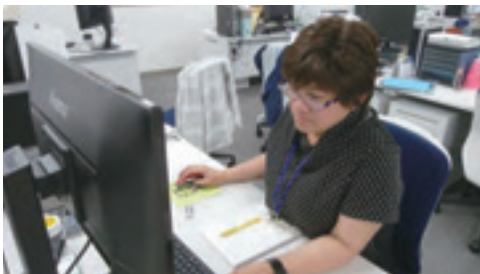
その会社を希望したのは、地元に残って身近な地域に貢献したかった事と、卒業研究が土質だった事もあり、土質（地盤）調査に関わる事が出来る環境があったからです。

しかし、調査結果がどの様に設計に反映されているのか？と言う事が少しずつ分かってくると、「調査」と「設計」の連携が必要だと考えるようになり、道路設計の中でも主に地盤に関わるような業務に従事していく事になりました。

2014年、長年住み慣れた苫小牧を離れ、札幌に転居・転職しました。きっかけは“がん”に罹患した事でした。

医療サービスの充実等を第一に考えての転居です。また、以前から「ステップアップしたい！技術士を取りたい！」と言う気持ちもあり、年齢的にも“今しかない！”と思いました。

その後、念願の技術士を取得し、「北開工営(株)」に入社し現在に至ります。



◆理系の学校・仕事はどうか？

子供の頃から科学と歴史が好きで、将来はどちらかの道に進みたいと思っていました。

しかし、中学生の時に少々道を外れて徐々に勉強をしなくなり、進路を考える頃にはそれはひどいものでした。

ところが、家から近いと言う理由だけで高専見学に行った時、これまで目にした事もない実験施設等を見てワクワクしてしまいました。それが高専を受験したきっかけです。

職業についても、実は研究者になりたかったのですが、高専卒では無理だと思い建設コンサルタントを希望しました。

“やっぱり向いていないかも？”と思った事もありましたが、その考えは災害の現場に行って変わりました。“早く何とかしてあげなければ！”と。

現在の会社への入社は2018年9月です。

入社3日後に「北海道胆振東部地震」が発生しました。

初仕事は災害関連業務（液状化対策）でした。

「地域の安全」に少しでもお役に立てた事で、「この仕事を続けてきて本当に良かった」と思います。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

進路や就職を決める時にはっきりと自分の職業をイメージできる人はそう多くはないと思います。また、「見る」、「体験する」、「経験する」チャンスも次があるとは限りません。

『迷っているならまずはチャレンジ！』

今は専門分野もボーダレスになりつつあります。分野を越えて柔軟に対応できる事も必要です。

高専でしか体験・経験できない事はたくさんあります。そう言う意味でも進路（専門分野）や職業の選択の自由度が高いと思います。

それから、理系・工学系は“男性”のイメージを持っている女子～！

得意不得意、性別、年齢、障がい、病気…

色々な人が関わってこそ良いものが出来る！

私はそう信じています。

「当たり前」を守り抜く仕事



城浦 美優さん

釧路高専 電子工学科
2016年度卒

北海道ガス株式会社
供給保安部 緊急保安グループ
担当業務:高圧システムチーム

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私は工場で作られた都市ガスをお客さまに届けるためのガス導管や、ガスの圧力調整設備を維持管理する部署に所属しています。様々な業務がある中、私は「電気・通信」を担当しています。

実はガスを供給する際、安定したガス供給を行うため、ガスの圧力や流量など、現場の計測機器と監視センターの間で通信を行い、24時間365日、ガスの供給状態を遠隔監視しています。停電時にも通常時と変わらない監視制御ができるよう、非常用電源の確保も必須です。このようにガスの安定供給のためには、電気・通信の技術が不可欠なのです。

2018年9月、胆振東部地震がありました。あのような大きな地震でも、監視センターでの遠隔監視を継続し、ガスを安全にお客さまのもとへ届け続けることができました。まさに、維持管理業務の成果が表れた瞬間だったと感じています。

地震の例からわかるように、私の仕事は「お客さまの当たり前」を守り抜くことです。どのような状況であっても普段と変わらない生活を送ることができるということこそが、仕事の成果なのです。

普段そのことを実感する機会は少ないですが、今この瞬間も、お客さまにとっての日常を守っているのだという意識を忘れることなく、これからも日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

実は高専を知るまでは、商業高校に進むつもりでした。商業高校で資格を取り、早々に働きたかったためです。ただ、理科や数学に苦手意識もなく、卒業後に就職ができるのであれば理系・文系にこだわりはありませんでした。

今振り返ると、早く自立したいという思いが強かった私にとって、高専（理系）という選択は間違っていなかったように思います。そして今、就職して更にそのことを実感することが多くなりました。

理由は様々ありますが、やはり一番は、学んだことが仕事で活きるということです。ゼロから勉強しなければならないこともたくさんありますが、小さなきっかけで「あ、知っている」と思うことも多々あります。しかもただ知っているのではなく、苦勞して勉強したからこそ、使える知識として思い出すのです。

使える知識があれば、仕事を進める上で必ず助けになります。そしてそれが、会社での自立（一人前）にも繋がるはずですよ。

私自身まだまだ勉強中ではありますが、いち早く理想の自分になれるよう、これからも頑張りたいと思います！



◆女子中高生の皆さんへひとこと

今年に入り、初めて後輩ができました。後輩と話していると、私の入社した頃を思い出すのですが、当時とは見える景色が変わってきたように感じます。経験値が上がってきたからこそ悩み、不安になることもあります。もし今将来のことで悩んでいるのなら、それは少しずつ大人になっているからだだと思います。将来を現実的に考えられるようになってきたからだだと思います。

せっかく大人になるのなら、自分がワクワクする将来を進んでほしいです。ワクワクしながら進路を探してほしいです。がんばれ！

視野を広げ、自分の人生をより良い方へ!



北澤 由梨亜さん

苫小牧高専 物質工学科
2009年度卒

北海道曹達株式会社
新規事業部化粧品チーム
主査
担当業務:弊社化粧品の販売戦略・
営業・広報など

◆現在、どのような仕事をされていますか?

私の現在の仕事は化粧品の企画・開発からマーケティング、営業、プロモーションに至るまで、化粧品事業に関わる全ての業務になります。

2017年の夏に現在の部署に異動し、それまでは研究開発部に所属し、未利用水産資源の有効利用やポリマーの研究をしていました。

研究時代は実験室に籠り1日中実験を繰り返していました。研究といえば、学生時代からのお馴染みではありますが、企業の研究はコストとの闘いです。どんなに良いものが出来ても価格が高すぎれば買い手はおらず、利益を生み出すことは出来ません。この薬品を使えば、効率は上がるが価格が高いから別の薬品で試してみよう!など、試行錯誤の毎日を送っていました。

現在の仕事は、1日中デスクで仕事をしていることもあれば、店舗まわりや、打ち合わせなど、外出することも多い部署です。宣伝活動の為に全国を飛び回っていた時期もありました。慣れない仕事も多いですが、私の入社動機が「化粧品に携わる仕事」だったので、自分のやりたかった事業に携わることが出来、非常に充実感があります。



◆理系の学校・仕事はどうか?

私が高専に進学した理由は、自分に合う化粧品を将来作りたいという気持ちがあり、とりあえず理系に進めばいいだろうと思ったこと。安易ですが、これが動機の1つ目です。2つ目は苫小牧高専が亡き父の母校であり、小さな頃から高専の話聞き育ち、周りからの勧めがあったことです。実際に理系に進んで思うことは、この時の選択は間違いではなかったということです。

現在携わっている仕事は必ずしも理系である必要はないのかもしれませんが、ですが、学生時代に培った理系的考え方が仕事に活かされているのは事実です。最も、理系に進んでいなければ、この会社を選択する機会もなかったかもしれません。何よりも、私にとって理系に進んだ一番大きな財産は、高専の5年間で苦楽を共にした仲間たちです。未だに連絡を取り合い、時には旅行に出かけるような一生涯の友を高専で得ることが出来ました。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

皆さんが今見ているこの冊子はどれほどの人の手によって完成したものでしょうか。企画を立てる人、原稿を作る人、レイアウトを考える人、文章を校閲する人、紙を作る人、印刷をする人、更に各工程にはその裏で働く人が大勢います。数えていたらキリがありません。このように、ひとつの物を取り上げてみるだけでも色々な職業が隠れているのがわかんと思います。

この物事の見方を自分の興味のあるものにも当てはめて見ると、どうでしょうか。その中に、将来携わりたいと思える仕事が見つかるかもしれません。

世の中には皆さんが思っている以上にたくさんの職業で溢れています。そして、どれを選択するのかは、皆さんの自由です。その選択肢を増やすためにも、若いうちに色々なことにチャレンジし、視野を広げ、自分の人生をより良い方向へ導いていってください。



道藤 玲奈さん

旭川高専 制御情報工学科
2014年度卒

株式会社牧野フライス製作所
生産技術部 生産技術一課
治工具標準チーム
担当業務:治工具設計

◆現在、どのような仕事をされていますか？

「飛行機」「スペースシャトル」といったスケールの大きなものから、「スマートフォン」「デジカメ」「医療機器」など皆さんに身近なものまで、世界のあらゆる地域や場面で必要とされる『モノ』は、金属等を加工する工作機械から作られています。

あったらいいな、必要なというものを作り出す世界の思いを技術と創造で形にするのが、モノづくりに必要不可欠である工作機械の役割であり、その設計、製造、販売をしているのが、牧野フライス製作所と言う会社です。

所属する生産技術一課では、開発部が設計した部品の生産ラインを構築しています。その中で私は、加工部品を固定するための治具設計や、加工部品を削るための工具選定を担当しております。製品の品質は元より、作業者の安全性や、製造コストを抑え、会社の利益を生み出す、どれも責任のある重要な仕事です。

一つの部品をやり遂げて、その部品が現場で安定して生産されているのを見たときに生産技術者としてのやりがいを感じます。

◆理系の学校・仕事はとうですか？

高専を知ったきっかけは、中学の担任の先生の紹介でした。学生寮があり通学しやすいこと、5年間で学費も抑えられるということで、特別意識して「理系」を選択した訳ではありません。しいて言うなら『制御情報工学科(現:システム制御情報工学科)ってパソコン使って勉強するのかな？

面白そう!』という単純な理由でした。入学してみると、勉強は想像以上に難しく、「赤点60点」「2科目6単位落とすと留年」と現実には甘くありませんでした。しかし、高専の良い所は、学内に専門分野のスペシャリスト(教授)がたくさん居て、自分が理解するまで教えてもらえることです。おかげで自身の得意・不得意を理解し向き合いながら幅広い分野を勉強することができました。工作機械メーカーに就職を決めたきっかけは、授業中に見た金属の鏡面加工動画でした。金属の大きな塊からピカピカな面が出来上がる美しさに惹かれ、この面を生み出すには工作機械の精度が重要なこと、その技術が詰まった工作機械は日本で生まれ、全世界で使用されている事を知りました。私は、この日本のモノづくりの基盤となる工作機械産業に携わってみたいと思い、その動画で使われていた機械が牧野フライス製作所の工作機械だったことも縁を感じて、就職を決めました。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

今、将来のやりたい事が決まっている人はごく僅かだと思います。むしろ、決まっていない人も焦らなくて大丈夫です。ぜひ、いろんな人と出会って、いろんな経験をしてみてください。その経験の中で少しでも「気になること」「やってみたいこと」があれば、失敗を恐れずに挑戦してみてください。もし失敗しても、ちゃんと失敗原因を分析して再挑戦です。

先の見えない世界へ歩くのは、不安や危険も伴います。最後に、私が大切にしている恩師の言葉を紹介します。

『大切なことは 転ばないことではなく
転んでも 必ず起き上がることなんだ。』



村下 伊代称さん

苫小牧高専 機械工学科
2013年度卒

株式会社牧野フライス製作所
生産技術部 生産技術一課
標準管理チーム
担当業務:加工プロセスの提案

◆現在、どのような仕事をされていますか？

入社当初は、女性としては珍しい現場作業者として、2年ほど工作機械の組立作業に従事しておりました。この期間で、組立の基本や組立図・部品図の解釈、工具の使い方、クレーンを使った物の吊り方などを身に付けることができ、非常に貴重な経験となりました。

現在は生産技術という部署で、組立現場の改善業務（①組立治具の検討及び設計 ②組立手順書の作成）を中心にを行っています。

①組立治具の検討及び設計

工作機械というと「加工」のイメージが強いかもしれませんが、高精度で緻密な組立作業があつての機械でもあります。数万点の部品を人の手によって組み立てますが、精度の確保に並び安全の確保も肝要です。そのために適切な対策（組立治具の作成や工法の変更）が欠かせません。

②組立手順書の作成

作業を標準化し、誰でも安全に同じ品質の機械を組み立てられるよう作業手順書の作成も行っています。組立現場で作業内容を調査しますが、実際に自ら作業をすることもあります。その際に気づいた点を調査・確認し、手順書に反映することもあるので、非常にやりがいのある仕事です。

マキノはスキルアップの機会も十分に用意されています。私も現在は、現場に入りながら機械加工や加工工程について勉強しています。男性の比率がまだまだ大きい会社ですが、男女に関わらず、様々なことにチャレンジする機会や経験を得られる魅力的な職場です！

◆理系の学校・仕事はどうか？

高専に進学した理由は、就職に有利であろう、また女子が少ないから人間関係に悩むことが少ないであろうという安易な考えからでした。

そのため、入学当時に目標をもっていたわけではありませんでした。入学してから探しても遅くないし、学校に通ううちに何か見つかるはず…なんて呑気に考えていたのです。

こんな私ですが、工場で働く人材になりたいと考えるようになったのは、実習工場に自由に入出入りするようになってからです。技官の先生たちのところへ遊びに行くうちに「工場って楽しいなあ！」と思うようになり、生産現場に携わることができる仕事を意識するようになりました。

現在の会社で就職を決めたのは、卒業研究で牧野フライス製作所製の工作機械を使用したことがきっかけです。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

将来の進路を考えたり決めたりするのって難しくて辛いですね、私もそうでした。

15歳で親元を離れて、20歳で北海道を離れて、内地で働くなつて、ましてや内地で北海道の人と結婚するなんて考えてもみませんでした。

まずは、自分が勉強していることや趣味から好きなことを見つけて、進んでみるのが良いと思います。

また、在学期間に得られる機会も最大限に利用してほしいと思います。私も実習工場でもっと機械を触っておけばよかったと今になって後悔しています。

進路に悩んだとしても、私もそうだったように先のことは読めません。一歩前に進むきっかけづくりだと考えてみてはいかがでしょうか。



後悔することの無いような選択を！



藤澤 菜那さん

旭川高専 物質化学工学科
2016年度卒

三井化学株式会社
市原工場 茂原分工場
製造部 生産技術グループ
技術スタッフ

◆現在、どのような仕事をされていますか？

三井化学には工場5拠点と研究所1拠点があり、私は茂原分工場という千葉県にある工場に勤務しています。仕事内容は、工場勤務者では非常に珍しいですが、「新銘柄の研究開発」や「製品改良」を業務としています。実験を通して新しい銘柄を開発する事、工場で作っている製品を、お客様の要望に応じて改良する事が私の仕事です。開発・改良した製品は「原料」としてお客様に届けられ、私たちの身の周りのモノに使用されています。私が携わった製品例をあげますと、洋服や鞆に使用されているファスナーや、医薬用PTP包装材料、スチール缶や自動車の塗料などがあります。三井化学の製品と聞くとあまりピンときませんが、様々な場面で使用されているのが特徴です。私が働いている生産技術グループという職場は、男性4名、女性3名の計7名と少数ですが、性別関係なく皆が実験業務をこなしています。また、各個人で一つのアイテムを開発・改良から製品化まで担当できるため、「技術営業」「試作・量産化製造」と実験以外にも様々なことを経験できます。自らが携わった製品が実際に量産化された時は、非常に達成感・やりがいを感じる事ができる仕事です。

◆理系の学校・仕事はどうですか？

友人が公立・私立の高校に進学する中、私は理系に特化した「旭川高専」に進学しました。中学生の当時から理科の実験授業が好きで、将来は実験をする仕事してみたいと子供ながらに思っていました。そんな中、中学2年生の時に旭川高専の体験入学に参加した際、白衣を着た先輩方が実

験している姿を見て「自分もこうなりたい！」と思ったのが、高専進学のかっけです。旭川高専の物質化学工学科では、5年間「化学」に特化して、知識・技術を養える学校です。5年間と聞くと長いように感じますが、本当にあっという間でした。高専卒業後は三井化学に就職し、思い描いていた「実験をする仕事」に就いています。勿論、簡単な仕事ではありませんが、実際に自分が携わった開発品が製品化され、世の中の様々な場面で使用されているのを見ると、非常にやりがいのある仕事だなと感じています。

理系が好きで進んだ高専進学・理系企業就職でしたが、私の人生のターニングポイントは高専進学です。あの時進路選択を高専にして本当に良かったなと思います。



◆女子中高生の皆さんへひとこと

はじめまして、三井化学の藤澤です。冊子を読んでもいただきありがとうございます。進路選択は、将来の仕事や今後の人生に大きく影響する、とても大切な選択だと思います。実際、私の場合は進路選択が今の仕事に直結していますし、人生のターニングポイントであったと思います。経験談ですが、私が高専進学を選択した時は、自分の得意な分野、好きなことは？将来どんな仕事をしたのか？という事を考え、両親や先生に、「自分のやりたいことを叶えるためには、どの様な選択肢があるのか」を相談しました。当時は自分のやりたい事を言うのは少し恥ずかしかったですし、ぼんやりとした目標しか伝える事が出来ませんでした。が、親身になって考えて頂き、様々な意見・アドバイスを頂くことが出来ました。その中で候補として高専があり、進学するに至ります。またこれは、進路選択だけでなく就職活動においても同じことが言えると思います。進路先、就職先で、学びたい事・やりたい事が出来るのか、皆さんにも将来の自分が後悔することの無いような選択をして欲しいと思います。



中村 咲月さん

苫小牧高専 電気電子工学科
2019年度卒

村田機械株式会社
L&A事業部 技術部
担当業務:物流搬送システムにおける
無人搬送車のソフト設計

◆現在、どのような仕事をされていますか？

私が所属している L&A 事業部では自動倉庫システムや無人搬送システムなどの物流システムを提供しています。皆さんの目に触れる機会はありませんが、製造現場だけではなく、商品の配送センターや、果ては納骨堂まで、モノが動くところにならどこにでも私たちのシステムが関わっています。

この事業部で私は AGV という無人で荷物を運ぶロボットのソフトウェア設計をしています。

仕事では、AGV のプログラム・シミュレータ作成、AGV の搬送実験などを行っています。他社と比較すると、オーダーメイド色が強いのが強みです。お客様のご要望に併せて、機械やシステムをカスタマイズ設計したり、時には新しい技術に挑戦したりすることもあります。毎回違う設計を行うため大変な部分もありますが、とてもやりがいを感じています。

入社してまだ間もないですが、先輩方にたくさん助けてもらいながら様々なことに挑戦しています。今は早く仕事を覚えることが目標ですが、将来的にはお客様のどんな要望にでも応えられるような設計ができる技術者になって、物流システムの可能性を広げたいです。



◆理系の学校・仕事はどうか？

・理系の学校(高専)を選んだきっかけ

小さい頃からモノづくりが大好きだったため、将来はモノづくりに携われる仕事に就きたいと思っていました。そのことを知っていた父が高専のパンフレットを見せてくれたのが高専を知ったきっかけです。高専を選択する友達や先輩が身近にいなかったため、高専へ行くことに不安がありましたが、モノづくりに関わる技術を早く身に着けたと思い、高専へ進学することを決めました。

・理系の学校を選択して思うこと

正直なところ、理系教科は好きでしたが、そこまです得意ではなかったのが最初は勉強に付いていくことに必死でした。さらに実験が毎週あるためレポートも多く大変でした。ですが、徐々に専門教科やレポート作成にも慣れ、モノづくりの技術が身についている実感を持つことができ嬉しかったです。就職してからも高専で得た経験や知識はとても役に立っています。また、大学受験が無い分、部活や研究に打ち込めることも高専の良い部分だと思っています。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

理系の学校へ進学する女子は少ないので、理系を選択することに多少なりとも不安を感じるかもしれません。学科にもよりますが、実際理系の女子は少ないです。ですが、私みたいにモノづくりが好きだったり、科学者になりたかったり、好きなことや将来やりたいことがあるなら、周りを気にせず好きな進路を選択したほうが良いと思います。私の会社でも、女性の技術者は増えてきていますし、性別で仕事区別されることはありません。

もしも途中で進路を変えたくなくなったとしても、いつでも変更はできます。(私の友達にも理系から文系、文系から理系に進路を変えている人はいます。)理系でも文系でも自分で進路を決めることが一番大切だと思います。皆さんが自分の行きたい進路へ進めるよう応援しています。

たくさんの経験と人の縁を大切に!



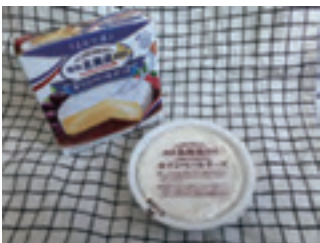
木島 みなみさん

旭川高専 システム制御情報工学科
2014年度卒

雪印メグミルク株式会社
大樹工場製造三課
担当業務:カマンベールチーズの製
造、機器の洗浄

◆現在、どのような仕事をされていますか?

私は雪印メグミルク(株)大樹工場で、カマンベールチーズの製造を担当しております。担当業務は「カマンベールチーズの製造」「カマンベールチーズの特徴であるカビや、チーズ製造に不可欠な乳酸菌の培養」「製造機器の洗浄」です。製造工程は、「①乳を殺菌する→②乳酸菌と酵素で乳を凝固する→③丸い型に詰める→④加塩する→⑤熟成する→⑥包装する」という流れになります。私は主に①から④を担当しています。カマンベールチーズは朝早くから夜遅くまで製造しているので、複数の従業員が交替しながら作業しています。製造機器は基本的に自動で洗浄を行います。ただし細かい部品や自動洗浄できない箇所については手洗いです。また製造が無い日は、製造機器の部品交換や修理等のメンテナンスを行います。現在、私は今年生まれた長女の育児をしています。長女は最近、色々なことに興味を持ち始め、覚えたハイハイで家事をしている私を追いかけてきます。でもおむつを替えることや着替えは嫌いなようで逃げていきます。工場で培われた腕力と体力で子育てに奮闘しています。



◆理系の学校・仕事はどうか?

私が旭川高専を志望したのは地元から離れたかったのと、「ロボットコンテストで優勝できる技術力があり、就職先も安定していそう」という父親の勧めでした。旭川高専制御情報工学科の体験入学の際、CG(コンピューターグラフィックス)に触れてプログラムに興味を持ち入学することを決めました。雪印メグミルクに入社したのは、幼少から雪メグ商品が好きだったからです。特に雪印コーヒーが好きで「こんな商品を作りたい」という思いがありました。加えて、高専在学中にお世話になったインターンシップ先でその年の採用試験がなかったということもありました。制御情報工学科から食品会社に就職するのはイメージしづらいかも知れませんが、食品製造工場は蒸気や空調や電気系設備等があり、管理する人が必要です。大樹工場配属後は旭川高専で学んだプログラムの知識、工具の使い方、工作の仕方等が役に立ちました。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

進路について悩める方は多いと思いますが、今は自分がやるべきことをやる、たくさん経験することが大事だと思います。中学校では希望する高校への体験入学や、地域の企業への職業体験がありました。旭川高専では一般企業へのインターンシップ、北海道内各地の企業を巡る見学会、一般企業が旭川高専へ訪問し紹介する企業説明会というものがありました。こういった制度があるならいい機会なので利用しましょう。これらに限らず、アルバイト、部活動等活躍できる場所はたくさんあります。活動を通してできた人脈に救われることもあるので人との縁も大切にしてください。また、学生や新入社員が研修等で大樹工場を訪問することがありますが、その際「こんにちや」「よろしく願います」等のあいさつが言える人は研修後も良い印象です。ただ、あいさつをしない人は成績に関係なく良い印象を持たれません。「あいさつ」は社会人のマナーです。皆さんの役に立てたらうれしいです。



中村 彩音さん

苫小牧高専 情報工学科
2016年度卒

社会福祉法人緑陽会
法人本部企画室
事務員
担当業務:広報・企画運営・システム
管理サポート等

◆現在、どのような仕事をされていますか？

わたしが勤める社会福祉法人緑陽会は北海道の胆振地域(主に苫小牧市)において地域の高齢者の皆さんの生活を支える様々な事業を展開しています。皆さんに聞きなじみのあるものだと「老人ホーム」「デイサービス」といった14の高齢者福祉サービス・18事業所を運営しています。

わたしは緑陽会法人本部の企画室という部署で事務職員として勤務しており、主に法人全体の広報業務・職員交流の企画運営を担当しています。

広報業務では施設・採用パンフレットや新聞・チラシ等の広告作成、ホームページなどの編集・作成を行い、職員交流業務では若手職員の交流を目的としたイベントの企画・実施や内定者の方に向けたイベント企画やフォロー業務を行っています。

そのほかにも法人内で使用するパソコンやシステム管理のサポート、一般的な事務業務も行っています。



◆理系の学校・仕事はどちらですか？

わたしが勤めている職場は「医療・福祉」の分野で工学や情報系技術とは無関係のような職場に思われますが介護の現場でも利用者様の情報を管理するためにシステムは必要不可欠ですし、福祉の分野では介助者の負担を軽減するための“介護ロボット”の開発もとても盛んです。

またわたし自身も高専の授業で学んだプログラミングやネットワークなどの知識を担当している業務にさまざまな場面で活かすことができています。

工学や情報系技術はあらゆる分野になくはない存在であると実感したと同時にそれらの知識を身につけることで高専卒業後の進学・就職先としてさまざまな分野を視野にいれることができ、将来の可能性がひろがるのではないかと思います。

◆女子中高生の皆さんへひとこと

「進路」を決めるときは誰でも漠然とした不安を抱えてしまうと思います。

人と比べてしまってモヤモヤすることがあると思います。

「本当にこれでいいのかな？」といっぱい悩むと思います。

でも、道を選ぶのはほかの人ではなくあなた自身です。

将来、振り返ったときに「この道を選んでよかった」そう思えるよういっぱい悩み、いっぱい努力し、いっぱい今を楽しんでください。

皆さんの“これから”を応援しています！

Hokkaido女子中高生^{理 工}「Rikoのきやりさぼ」プロジェクト

<運営> 旭川工業高等専門学校 〒071-8132 旭川市春光台2条2丁目1-6
苫小牧工業高等専門学校 〒059-1275 苫小牧市字錦岡443番地
釧路工業高等専門学校 〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号

<HP> <https://hokkaido-rikejo.jp/>

北海道の女子中高生

Rikoのきやりさぼ

理工キャリアサポート

HP



イベント情報や
お問い合わせなど
詳しくはこちら！

Twitter



Instagram



理工系で学ぶ楽しさや、興味深い理工系の職業がたくさんあることをもっと知ってもらいたい。
そのためにこの冊子を作成しました。

Rikoのきやりさぼプロジェクトは、女子中高生のより豊かな未来を応援しています。

— Rikoのきやりさぼスタッフ一同 —